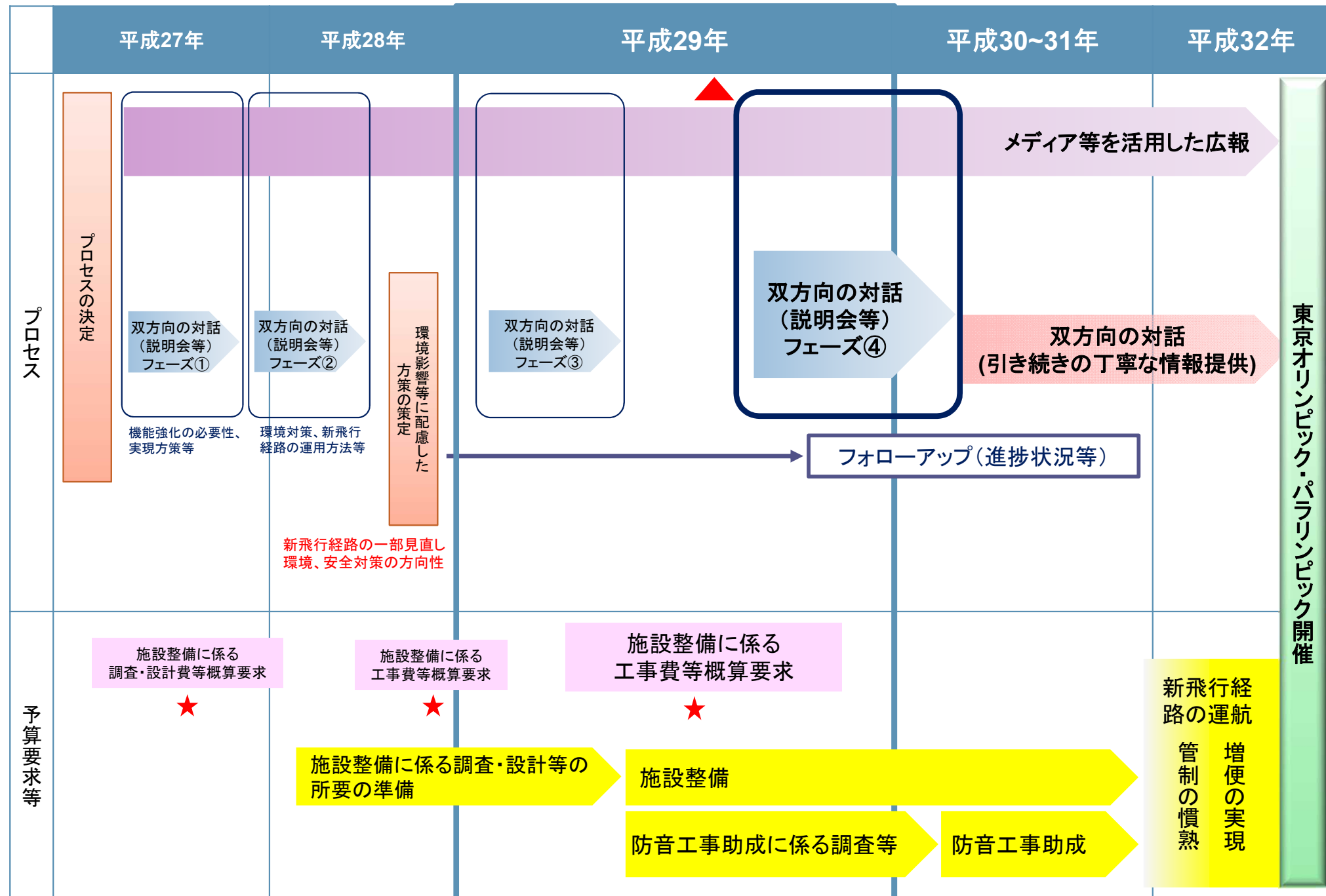


羽田空港機能強化の進捗について

羽田空港機能強化に向けたプロセス



機能強化に必要な施設整備、防音工事等の予算措置

- 平成30年度予算では、飛行経路の見直しに必要な航空保安施設、誘導路等の施設整備、CIQ施設整備、環境対策事業(新規)を実施。

【平成30年度 主要事項】

施設整備

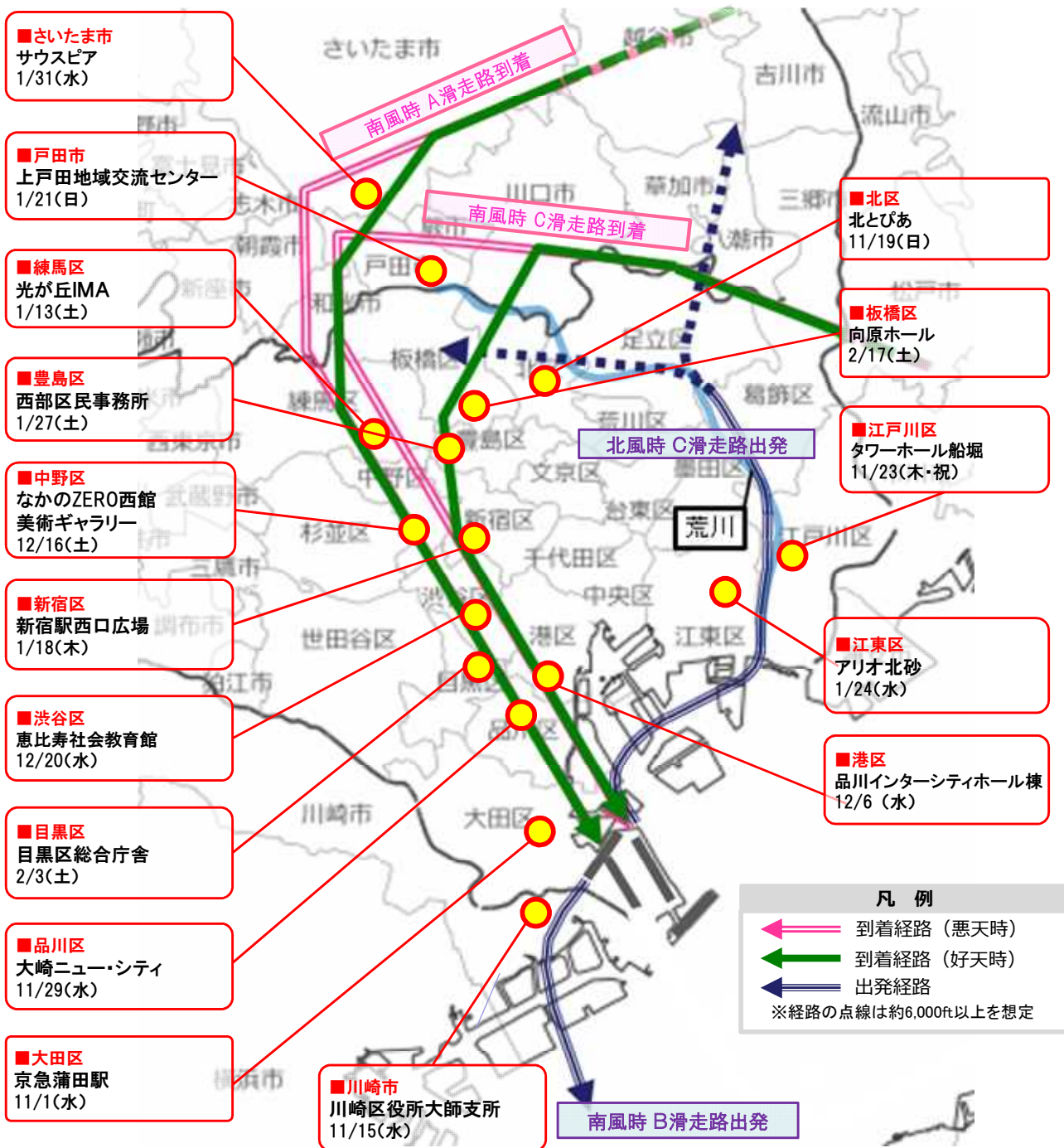


環境対策事業(新規)

羽田空港の機能強化に伴い、以下の環境対策を実施

- ① 新たに基準を見直し、学校・保育所等の防音工事に対して助成
- ② 航空機の騒音を常時モニタリングする騒音測定局の増設

引き続きの丁寧な住民説明会の開催について(平成29年11月～)



- 羽田空港機能強化について、できるだけ多くの方にご理解頂けるよう、**11月以降、第4巡目となるオープンハウス型住民説明会を順次開催。**
 - ・東京都:計13ヶ所 ・神奈川県、埼玉県:計3ヶ所
- これまでに説明してきた機能強化の必要性、実現方策等に加え、昨夏に策定した「**環境影響等に配慮した方策**」の進展等に加え、**新飛行経路に関する詳細な情報提供や落下物対策の検討状況**を示していく。
- 今後も、関係自治体と相談しながら、新飛行経路運航開始までの間、住民説明会の開催等を通じた丁寧な情報提供を行っていく。

過去の開催実績(東京都、神奈川県、埼玉県の合計)

第1フェーズ:平成27年7月～9月	16会場、約6,000人
第2フェーズ:平成27年12月～28年1月	18会場、約5,100人
第3フェーズ:平成29年1月～5月	16会場、約2,300人

〈これまでに開催したオープンハウス型の説明会の様子〉



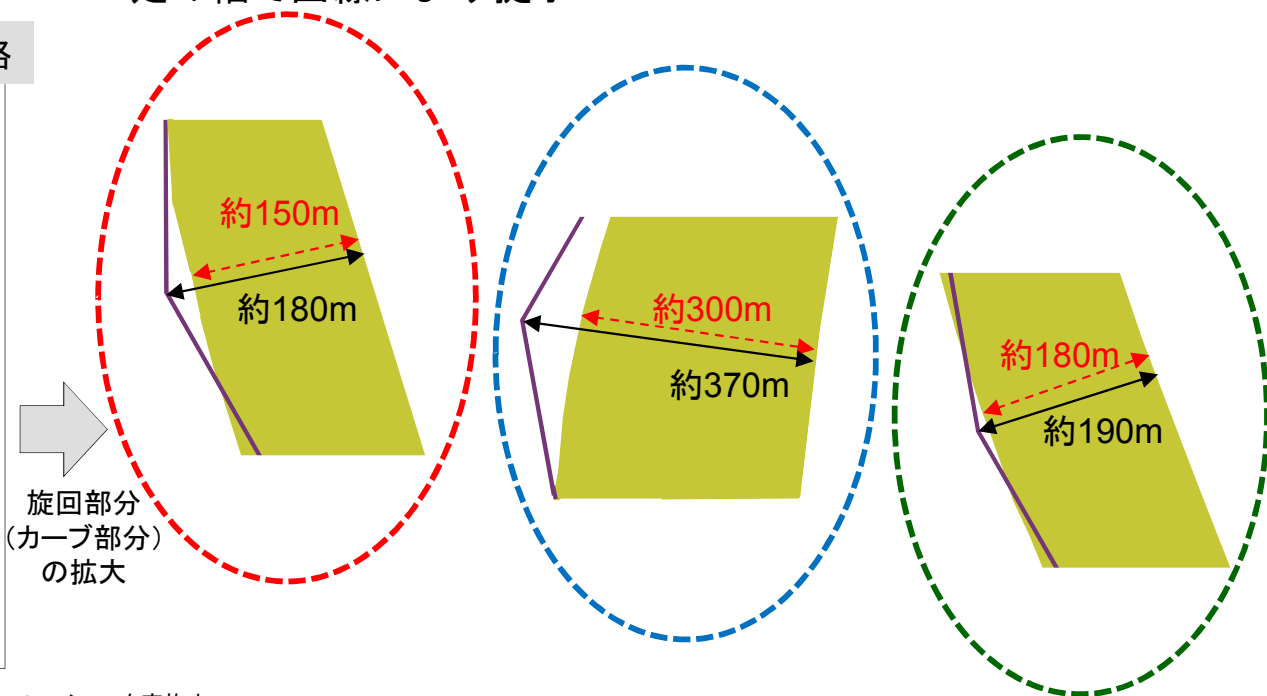
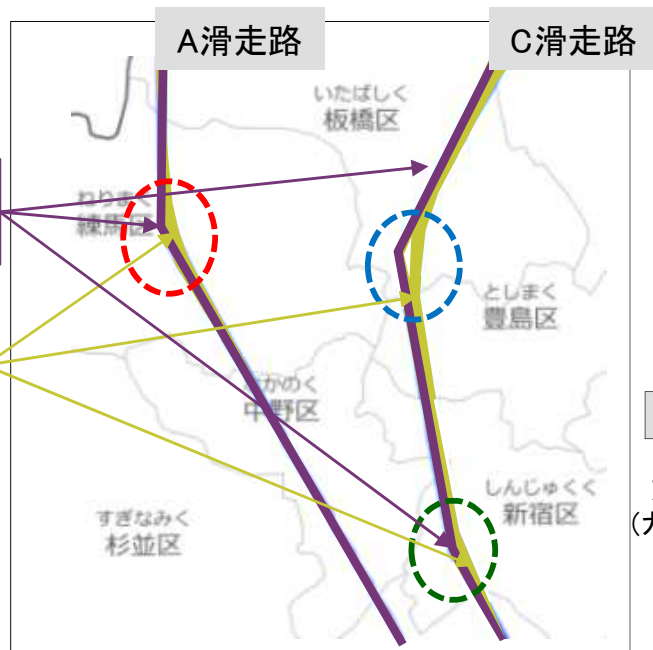
新飛行経路の詳細な情報提供について

○ 住民説明会においては、新飛行経路の**旋回部分（カーブ部分）**について、シミュレーションにより想定される航空機の**運航経路**や**飛行高度**を新たに情報提供する。

想定される航空機の運航経路（イメージ）

○ 旋回部分（カーブ部分）について、航空機の運航に合わせ、一定の幅で曲線により提示

好天時の例



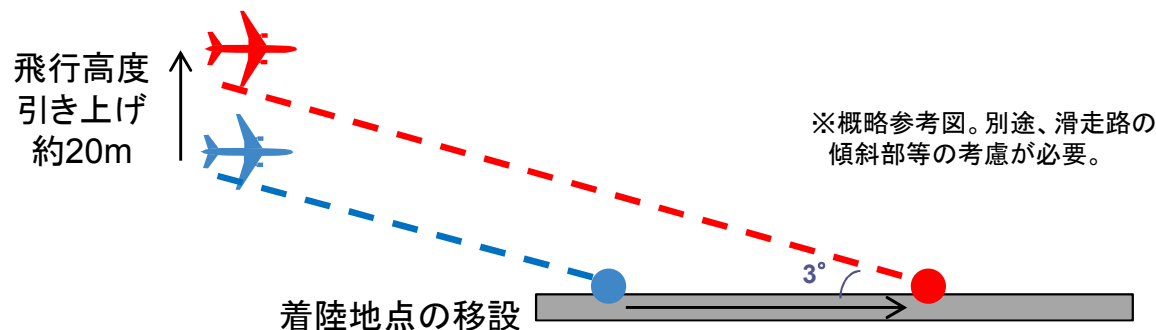
注1) 羽田南風時の新到着経路の旋回部分（カーブ部分）について、シミュレータを使用してシミュレーションを実施中。

注2) 上図の距離（黒字）は、これまでお示してきた飛行経路と現時点でのシミュレーションにより想定される航空機の運航経路との距離の差を表したものであり、追加的に実施しているシミュレーション結果次第では、変更の可能性あり。

注3) 上図の距離（赤字）は、羽田南風時の新到着経路の旋回部分（カーブ部分）について、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路の幅を表したものであり、追加的に実施しているシミュレーション結果次第では、変更の可能性あり。

飛行高度の引き上げ

○ 騒音軽減の観点から、着陸地点を南側に移設し、最終直線部分の飛行高度を引き上げることも情報提供



落下物対策の強化について(現在検討中の事項)

- **落下物対策**については、住民説明会での意見を踏まえ、**総合的に対策を整理、充実させていく。**
- 今後、関係者との調整を進め、**新飛行経路の運用開始までに対策を実施する。**

外航社も含めた未然防止策の徹底

(1)あらゆるチャネルを通じた未然防止策の徹底

- ① 外航社も含めた航空会社に対し、羽田空港の乗入れ航空会社等の会議において、適切な整備・点検を徹底するよう、繰り返し指導
- ② 国・航空機メーカー・本邦社との会議に、新たに外航社を招集した上で情報共有
- ③ 多国間の国際会議で乗入れ各国に対して注意喚起



(2)駐機中の機体チェックの強化

- ① 空港管理者による新たなチェック体制の構築
- ② 外国航空機に対する検査の強化
 - 今後検査回数を増加する際に、成田、羽田を重点化



事案発生時の対応強化

(1)情報収集・分析の強化

- ① 全国の空港事務所等に対し、落下物情報の報告について再度徹底（警察にも協力依頼）
- ② 事例を踏まえた原因分析の強化
- ③ 原因者特定方法の充実・強化



(2)航空会社に対する処分等の検討

落下物の原因者である航空会社(本邦社及び外航社)に対して処分等を行う方針。具体的な内容や手続きを検討中。

(3)補償の充実

- ① 救済制度(保険)の加入促進
 - ※加入状況:成田9割、羽田6割
- ② 見舞金制度の創設

環境影響等に配慮した方策の進捗状況について

環境影響等に配慮した方策 概要 (2016.7.28 第4回協議会)

○ 飛行経路の見直し等により羽田空港の機能強化を図る際には、関係自治体からの要望や住民意見等も踏まえ、環境影響等に配慮し、以下の方策を実施。

運用の工夫

新飛行経路案(南風時)

- 南風時の新到着経路に係る進入開始高度の引き上げ
- B滑走路出発機便数の削減
- 北風時の新出発経路に係る運用時間の後ろ倒し
- 現行経路に係る騒音軽減方策の実施

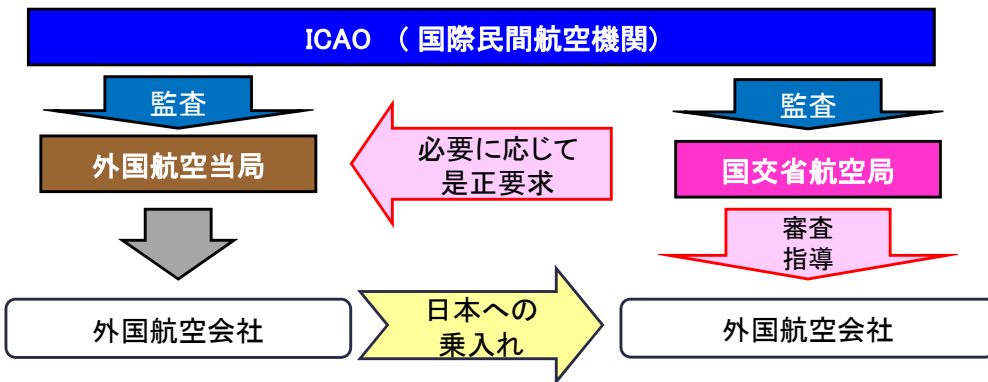
— C滑走路到着経路(悪天時)
— C滑走路新到着経路(好天時)
— A滑走路到着経路(悪天時)
— A滑走路新到着経路(好天時)
— 新出発経路

南風時新経路	15時～19時
北風時新経路	7時～11時30分 15時～19時

※切替時間を含む

安全対策

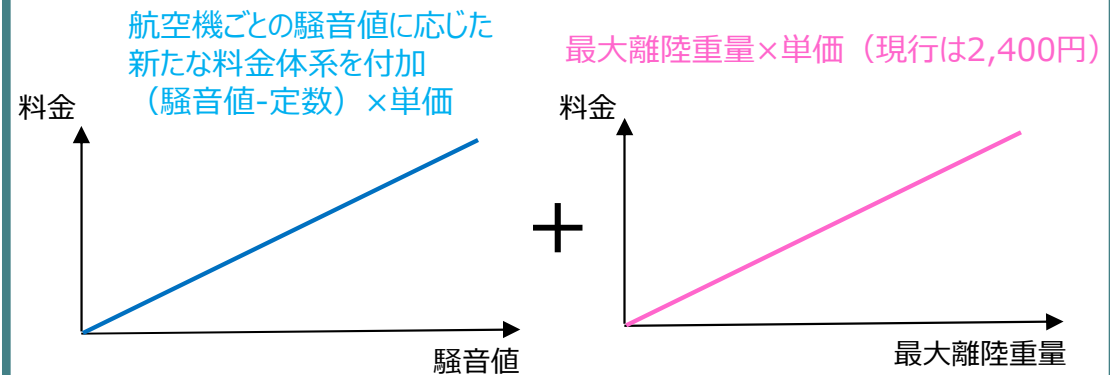
- 安全監督等に引き続き万全を尽くし、羽田乗入航空会社に対して安全対策の徹底の要請
- 落下物未然防止に引き続き万全を尽くすとともに、未然防止策の強化



環境対策

- 騒音の要素も組み合わせた着陸料金体系による低騒音機の導入促進

新料金体系 (イメージ) ※単価など詳細は調整中



- 学校、病院等の防音工事実施基準の見直し

$$\text{強度} \times \text{頻度} \times \text{当該強度・頻度の発生時間数}$$

【dB】 【回数/時】 【時間/週】

引き続きの情報提供

- ホームページや特設電話窓口の活用、市民窓口の設置など、引き続き丁寧な情報提供の実施
- 騒音測定局の設置等による騒音影響に関する監視及び情報提供の実施

【騒音測定局】



環境影響等に配慮した方策の取組状況について

環境影響等に配慮した方策		取組状況
運用の工夫	新飛行経路について、以下の方策を実施。 ・南風時の新到着経路に係る進入開始高度の引き上げ ・B滑走路出発機便数の削減 ・北風時の新経路に係る運用時間の後ろ倒し	騒音影響に配慮した運用について、以下をはじめとして具体化を進め、本年11月からの住民説明会(第4フェーズ)において情報提供。 ・新飛行経路の旋回部分(カーブ部分)について、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路の具体的なイメージを提示。 ・南風時の新到着経路の着陸地点を南側に移設し、最終直線部分の飛行高度を引上げ。
	現行経路について、北風時の現行到着経路に係る富津沖海上ルートの更なる活用。	富津沖海上ルートの活用のため、その運用比率を高めるための対策の平成30年度実施に向けた準備を進める。
	技術の進歩に応じた騒音影響の軽減。	引き続き技術進歩を取り入れながら検討を行っていく。
環境対策	羽田空港の国際線着陸料について、低騒音機の導入を促進する料金体系へ見直し。	本年4月より、騒音要素を組み合わせた料金体系を開始。
	学校・病院等の防音工事の助成制度について、その基準を見直し。	・防音工事の基準の見直しに係る制度改正の今年度実施に向けて調整。 ・来年度からの防音工事着手に向けて概算要求。

環境影響等に配慮した方策の取組状況について

環境影響等に配慮した方策		取組状況
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 安全監督等に引き続き万全を尽くし、羽田空港に乗り入れる航空会社に対して安全対策を徹底の要請 落下物未然防止に引き続き万全を尽くすとともに、未然防止策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 落下物対策については、住民説明会での意見を踏まえ、総合的に対策を整理、充実させていく。今後、関係者との調整を進め、新飛行経路の運用開始までに対策を実施する。 本年1月に新たに外航も含めて安全対策を依頼しており、引き続き更なる安全対策の徹底を要請。整備点検時の留意事項に関するパンフレットを作成し、配布予定。 本年3月に成田で空港会社及び国の職員によるチェックを開始。羽田でも国の職員によるチェックを今後実施予定。
引き続きの 情報提供	機能強化方策の進捗状況について、今後とも引き続き、関係自治体に情報提供を行う。	各都県連絡会（東京都は本年7月に幹事会を実施）の場も活用して、上記を含めた進捗状況について、情報提供を実施。
	ホームページや特設電話窓口の活用、市民窓口の設置など、引き続き丁寧な情報提供を実施	<ul style="list-style-type: none"> 本年11月以降、住民説明会（第4フェーズ）を実施予定。 特設電話窓口の拡充、常設型情報発信拠点の設置、移動型情報発信拠点の活用など、丁寧な情報提供を実施中。 飛行コース公開システム改修による情報提供機能の充実。（平成31年度運用開始予定（一部は平成28年度末に実施済））
	新たに騒音測定局を設置すること等による騒音影響に関する監視及び情報提供。	<ul style="list-style-type: none"> 騒音測定局の10局増設に向け、周辺の騒音環境の調査を実施中。 来年度からの測定局増設に向けて概算要求。